1
Rakujitsu
no
PATHOS
Presented by
Tsuyatsuya
艶々
落日のパトス
PATHOS
ヤングチャンピオン
コミックス
YC COMICS
漫画村

RAKUJITSU-NO-PATHOS

日のパトス

1

Presented by
Tsuyatsuya

ヤングチャンピオン
コミックス
COMICS

RAKUJITSU-NO-

PATHOS

CONTENTS

落日のパトス 1

第 1 話　どうしてこんなに壁が薄いの？　003

第 2 話　先生はそんな声が出せるの？　035

第 3 話　どうしてそんなに大きいの？　059

第 4 話　キミはまだ気にしているの？　085

第 5 話　ホントにやわらかかったの？　109

第 6 話　先生はそんなにしたかったの？　135

第 7 話　どうして気がつかないの？　159

第 8 話　これが前門の虎、後門の狼なの？　183

あとがき　207

【初出】週刊ヤングチャンピオン2014年12月号～2015年7月号

第1話
どうしてこんなに
壁が薄いの？

カンカン
カンカン
ガタタン
ガタタン

それでもう朝とかサイアクなんですよ
朝？なんで？

7時になるとねもう
すんごい音の目覚ましが鳴るんですよーー!
それも毎朝!
カリ
カリ

しかもぜんっぜん止めないんですよ!?
わたしこれから寝ようって時に!
ハハハ

もうまさみちゃんの生活変えるか怒鳴り込むしかないねェ…
そんなこと……
それに比べたら先輩のここはいいですねー広いしー
ガリ
ガリ
それなのにお家賃安いしー
まあでもここは条件付きだからね
でなきゃ入れないよこんな広いトコ
ああ…あと2年で退去しなきゃいけないんでしたっけ
そういう条件
うん
取り壊すらしくてね
それに広いことは広いけど古いよやっぱり
お風呂とかも本ー
まあそうですけどー

でもやっぱ壁が薄いのって嫌ですよう
逆に言えばこっちの音だって筒抜けなわけだし

そういえばずっとここは両方とも隣いないからなー
そういう苦労はないなあ

あれっでも右側の部屋誰か入るみたいですよ?
あれ?そお?
ええ さっき段ボール積んでました

そうかぁ入るのかぁ
ずっと気兼ねしなくてもよかったのになァ

静かなヒトだといいですけどね
そうだね

えっと22P終わりました
あ じゃあこっちの背景もお願いできるかな
ハイ

チュン
チュン
チチチ

おつかれさま でしたっ
おつかれさま〜〜〜!

ごめんねー 最終日は徹夜に なっちゃって
いえ! 完成までいけて よかったです!

先輩は 原稿持って 行くんですか?
うん 少し 寝てからね
取りに来て もらったら いいのにー
ハハッ そこまで 偉くないし

でもあの大学の サークルに入って よかったです!
こうして そのツテで先輩の アシスタント 呼んでもらって…

アナログ原稿
触れるのも
嬉しいですし！

それでさ
まさみちゃんが
もしよかったら
だけど
また入って
くれないかな

この短期連載の
間だけでも…
もう数回だけど
この先の明暗も
この作品に
かかってて…
だから

まさみちゃん
来てくれたら
すごく…
助かる…
アシ代
安いけど…

よかった！
私もまた
お手伝い
できたらって
思ってたんです！
ぜひ
お願い
します！

…よかった！
じゃあまた連絡するから！
はーい！よろしくです！
はー

嬉しいです!
……いいなあ…
まさみちゃん…
華やかでも
ないし…
平気で
ジャージで
帰っちゃうし
色気も
ないんだけど…

なんていうか…
可愛いよな…
けっこう
化粧とかしたら
それなりに
もっと…
それに……
ん〜〜
肘凝って
きましたァ
胸も
おっきいし‥
…
あ
これ…
朝カオ洗ってた
時か…
忘れて
いったんだ

あの子
毎回なんか
忘れていくなァ
この前もペンケース
忘れて帰ったし…
その前は帽子忘れて…

まさみちゃんの
においがする……
くかー……
そっち持ってー
ハーイ
OKでーす…

入るかー??
はい 大丈夫です!
ん……
うるさい…
あー…… そういや 引越しとか…

12時……！
よかった…まだ昼…
ピンポーン
はい？
あの…隣に越してきましてご挨拶をと
めんどいな…
あーはい
いまあけまーす
ガチャ

隣に越してまいりました仲井間と申します
これお近づきのしるしに
あ…ども
?
フジワラ…くん?

キミ…
藤原…秋くん
だよね…？

あ…
あっ⁉
ゆっ…
祐生先…生…⁉

やっぱり！藤原くんだ！
うわー ウソみたいだね！ こんな所で 会うなんて…！
っていうか お隣なんて！

………
…先生は
…なんで
…ここに…
あー
うん
えっと…
結婚してね
ダンナさんの
お仕事で
こっちへ
あ…そっか
さっき名前…
けっこん…
そうですか…
おめでとう
ございます…
いやもう
半年くらい前
なんだけどね
あと…
もう先生じゃ
ないから…
先生って
呼ばなくていいよ

まあこれから
よろしくね！

そうか…
結婚…したんだ

先生…

はい
いただきました
お疲れ様

じゃあ
次のネームも
早めにね

何度も言うけど
次が大事
だからさ

ラストに
向けて…

どしたの？
ボーッと
してない？
え
フジワラくん

あいや
大丈夫です

次のネーム
ですよね！
うん
気合いれて
やってみます！
うん
ほんとにね

ここから
正念場だよ？
わかってるよね
連載取れるか
どうかこれで
決まるから
頑張ろうね！

……はい！

先生って
呼ばなくていいよ
…か

結婚して…
退職して…

もう田舎からも
離れて
会うこともないと
思ってたのに

だから…
忘れかけて
たのに……

あ――!!

藤原くん！
ちょうどよかった！
買い物って どの辺 行ってるのかなー？
先生……
そっかー
あの駅前の 商店街で 済ませるんだ みんな
大型スーパーとかないのね
ええ 割合 安いですしね
それにしても そうかー… キミもマンガ家 にねェ——
……
じー……
なんスか？

凄いね
こっちでずっと
やってたんだね
キミは
なんか…ちょっと
たくましく
なったかな

そっ…そんなに
変わって
ないですよ！
フフッ

ありがと
じゃあ
行ってくるね
あ
はい

へえキミ
マンガとか
描くんだー
マンガ家に
なりたいの？
は…はい
できれば…
ですけど

だめだよ
そんなの！
え

できれば
じゃなくて
俺はなるんだ'
って言わないと
為し遂げられるのは
強い想いを
持った人だよ！

懐かしいな…

あ いや…

ちかうっ
違うんです!
ぼくっ

ぼく…はっ
先生のことが、
好きだから、
だから
こんな

あれは…
“告白”じゃ
なかった…
どちらかと
いえば

〝いいわけ〟……だよな…
…先生は… もう忘れたのか…？
あんな目で 僕を 見てたこと ……
…どっちにしろ …もう 結婚してるんだし
関係ないよな あんな頃の こと…

――!?
?
!?
な…んだ?
となり…?
んっ
だめっ…
あ…

あん…
あな…た
あはん
やっ…ん…
そこは…
だめ…
あっ
あ
ああ
あっ
あ
いのって
嫌ですよっ
静かなひとだと
いいですね
あ
静原くん

あッ
あ
あ
ああ
ああっ
は
は
あっ
は
なにしてんだ
——僕
こんなこと……
なにを…

こんなことしたら…
あのときと同じだ…
でも
こんな…
あんっ
こんな声あの先生が
ああっ
あの先生が？
あっ
あは
んっ
あのときだってどうこうしたかったわけじゃないんだ

ただ
先生の身体が気になって

見たくて仕方なくて

飛躍

2年のとき副担任だった

祐生まこと先生…

第2話 先生はそんな声が出せるの？

もう結婚して
〝祐生先生〟じゃなくなって
ああ…〝先生〟でもないってゆってたっけ
結婚してるんだもん
そりゃ当たり前だよね
あっ
そうゆうことだって
するよな
はっ

でも
こんな
はっ
ああっ
あああんっ
やっ
こんな声を…
あっ
こんな…
先生…
先生の声だ…
はあ
間違いなく…

少し
ハナにかかった
くぐもった声
かわってない
あ
でも
ほんとに…？
あの
先生が…
あの人が
してるの…？
ん
セ…ックスを
……!?
ああっ
は
は，
全裸!?
は，

男子の間でずっと話題になってた
はっ
あん
あの…でかいおっぱいも…
見せてるの…？
先生の乳房
あ
見たい
はっ
だめだ!!
僕も見たい
ずっと見てみたかった
こんなこと…許されない
これじゃ…あのときと同じ…
はっ
あん
あのときだって見てはいない
だいたい覗いたからってカーテンが閉まってたら
いい
見たい
そうだ現実に見られるわけじゃない
はっ
そんな都合よく…
あっ
はあ

あっ…あなた…っ
あ
は
あっ
〝あなた〟
そんな人妻みたいな
はあん
あ
ああ人妻なのか
は
はっ

乳房が
あん
別の生き物のようだ
ん
ちぎれそうなくらい
…ふたつ同時に動くんだ
同時に上下して
はっ
あ…やべ…
あ
僕
バキバキに勃起…

ひあ
あ
前後に…っ
あ
ああ
尻だけが
腰が
あっ
まるで…フラメンコのダンサーみたいな
ん

上半身がとまってるのに
腰だけあんなに
あんな動き
どこで覚えるんだ
先生はたくさんしてるのかな
いろんな男と
セックス
あんなおっぱいしてるし
それで覚えて
教えこまれて……!?
うきでてるなサコツ
先生のサコツ
先生…恍惚としてる
まるで別人
先生
カオ…すげ

あ
は
ひっ
ん

あ…あ…あ
せん…せいっ…
あひ
あ
知性のカケラもないカオしてる――
ひは

ああ
やん
は
あっ
あ
ああーっ
んっ

もう
いっかい
あ…
もう少し…
ん…
もう
いっかいだけ…
よく見て…
—
!?

え？
いない…!?
なんで…？
ほんとつい今まで…
声がしてたのに…
ぞわっ
僕が…覗いてるの…
バレたからじゃないよな

チチチ
チュンチュン
やべーな…
ネーム全く
進んでない…
ガサッ
ドサ
カッ
カッ
全然
集中できないよ…
あんな…
ピクーン
あ！
おはよう

あ…
えっと…
?
どしたの?
あ…いや
おはよう…ございます
なんか顔色悪いよ?
…バレてない…!

いやぁ…その
徹夜で
ネーム…って
えっと
その…仕事…
っつーか
マンガやってて…
わぁ！
ほんとに
マンガ家って
そうなんだ！
徹夜とか！
は…はは
ときどき
ですけどね
まぁ
身体こわさない
ようにね！
がんばって！

コツ
コツ
ムリだよ

先生が
僕の前で
普通で
いれば
いるほど
ゆうべの
あの
あの激しい
姿との
ギャップで
ああ…
ごめんなさい
は
ごめんなさい
先生
は

ゆうべから
これで…
何度目だよ
ガチャ
あっ
鍵開いてるっ
センパーイ
すいませーん!
急に
来ちゃいましたぁ
……?
先輩?
いらっしゃい
ます…?

あ――……
ごめん
寝てたよ
わっ
なんか
すいませんっ
実は…
わたしまた
忘れ物…
あ～
うんうん
その…
使ったままの
タオルを…
ああ
あれ今
洗濯機
入ってるから
いいよ
一緒に
やっとくよ

でも…
今日は
早く帰って
くれないかなあ…

…これね因数分解できないでしょ？
だから…
その場合に解の公式を使うわけねー
でそのいくつかある解の公式
まず「象限」から
第3話
どうしてそんなに大きいの？

これわかってきたら
次不等式の
求め方もわかるから
面倒だと
思わないで
頑張ろうね
キーンコーン
カーンコーン
相変わらず
まこっちゃんは
胸隠す服
着てんなー
あの
リボン
みたいなのなー
ははは
無駄だっつーの
俺達
男子の目は
あざむけねえぞっ
お前特に
オッパイ星人
だもんなー

…学校
やめたいなァ
たいして仲良いツレがいるわけでもないし
それにもっとマンガ描きたい…
高校やめて…そうだ
早く東京行ってアシスタントとかしたほうが…絶対
コーン
カーン

あれ——？
まだ残ってたの？
えーと
榛原君…よね
なに
してるの—？
こんな時間まで
あ…
いえ
わー
マンガ？
マンガ
描いてるの？
いやっその…
ちょっと…
なに——すごい
うま—い！

へぇー
キミはマンガ家になりたいの？
なりたい、っていうか…
そうですね
そう…なれたら、いいな…って
駄目だよ！そんなの！
なるんだ！っていう強い意志を持つの！
そしたらきっと道は開けるから－

…はい…
ミーンミーン
今日珍しく
まこっちゃん
ただのシャツだったぜ
マジ——？
2-3
なんで
こういう日に
授業ねェかなー
ナマで
みてぇー
ナマじゃ
ねぇし！
あんたら
サイテーね！
ムネ
ムネって
なんだよー
気になるじゃーん
ほんと…
バカみたいだな
こいつら
だって
AV並だぜ
あの乳！
酷いよねー
まこと先生
すっごい
いいヒトなのにー
男子
サイテー
ああ
同感だな…

祐里先生は
優しい…な
僕みたいな
ヤツにも
あんなふうに
声をかけてくれる
オッパイ…
も…そりゃ
大きいけど…
そんなこと
どうだって
いい！
ミ――ン
ミ――ン
ミ――ン

長良書店
こら！
藤原君
立ち読み
禁止だぞっ！
うわっ
祐生
先生…
こーんな
時間まで
本屋さん？
もう
暗いのにさー
いや…
ここ立ち読み
怒られないから…
日ェ悪く
なっちゃうよー

え——？学校やめるの？
あいやもうやめてもいいかな…って
あらた
やめてどうすんの？
…東京行って…マンガのアシスタントやって…
それで本格的に目指そうかなって
先生も…ほら・強い意志をって言ってたし…
ん——……
あたしの言ったのはそういうコトじゃないんだけどな～
なんていうか・意志の話で…

マンガも
そうだけど
学校もさ
中途半端って
よくないかなって
思うし…
学校だってまだまだ
楽しいこと
あるかも
しれないじゃない
もったいないよ
じゃあねー
気をつけて
帰るんだよー
はい
おやすみなさい
……
先生があんなこと
言ったから
決断した
つもりだった
のに…な

えーこの時間は自習にします
えーーー
祐生先生どうかしたんですかー？
いやたいしたことないんだがな
さっき校庭で花壇の水やりやっててな
軽い熱中症になっちゃったみたいでな保健室で休んでもらってるんだ
オイオイ大丈夫かよ
なにしてんだよーあのヒトぜってー天然入ってるよなー
はーいちゃーんと自習してろよー
……
あとでまた見に来るからなー！

祐生先生…
ワイ
ワイ
カラ・・・
保健室

失礼しま～す…
先生……？
いないのかな…
保健室の先生…
それに…
祐斗先生は…
ニヤ

んん…
はっ……

んっ…
グイッ

くる
ギュ

え…!?
キミ…
あ…
いやっ…
ちがっ

ちがっ……ちがうんです……
僕…ッ
先生が…ッたおれ…た…って
その……だからっ
……

その……

うん
いいね

このネームで
いこうか!

ただちょっと
気になるん
だけど

はい?

このヒロイン
こんな胸
大きかったっけ?
へ

お…
大きい
ですかね…?
うん

まあ
いいけどね
これくらいの
ほうが!
色気も
あってさ!
ははは!
ははは…

先生は…
あのときのこと
忘れちゃったのかな
あのとき
僕のこと
汚物を
見るような目で
見ていたこと……

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

４コマのパトス

昔おっぱいを触った
先生が隣に
越してきました。

しかし昔の
僕とは違う
ちゃんと反省して
誠実な人間として
接するんだ…
もうあの頃のエロガキではない

ガチャン
ただいま～
今日のゴハンは
なんでしょう～♪
一回着替え
ようかな

第4話
キミはまだ
気にしているの？

403
仲井間

は
はっ
あん
あ…なたっ
いいっ
あふぁ
あ

ヂュズ…
は
ズ…
あ
ヂュプンッ…
あっ
ヂュズ…

すごい…いい…っ
グチュ
んっ
ヌチュ
すごくいま当たる
あ…
くる…
ヌチュ
あっ
あっ
きちゃうっあたし…ッ
あっすごっ
こんなの…
こんなにっ
あーあっあっ
いく…っいき…
おい

おい
まこと
…!?
はっ
え…?
は…
いったよ
はっ
は
えっ
あ…
えっと…
え…?
もう
出ちゃったよ

お前
あんまり
激しく動くから
わかんなかっただろ
僕がイッたの

あっ…
…えっと
ごめんなさい…

別にいいよ
お前がまあ
気持ちよさそうで
よかった
あ…っ

さ シャワー
浴びてきなさい
汗だくだぞ
お前
僕は明日
早いから
朝シャワー浴びるよ

おやすみ
……
おやすみなさい…
はあ…

ひさしぶりのエッチ…
きもちよかった…
アアアアア
あとすこし…だったのに……な
なんかすごいの…きてた…
でも…
こんど…はじめてした頃みたいに…
正常位でも…してもらえるように…言ってみようかな
アアアア
あのひと…つかれちゃうから…ダメかな…

じゃあ
明後日
帰るから
留守を
よろしく
頼むよ
うん
いってらっしゃい

そうだ
ゴミ出し
してこなきゃ
あ…
ブラ…
してない…
けど
大丈夫かな
下までだし

藤原くん…
あ
おはよう
!
あ…っ
えっと…
?
えっ?
何この
リアクション

ブラしてないの…バレた…?
おはようございます…
どしたの? なんか顔色悪いよ?
あ いえ…
徹夜でネーム…えっとその仕事やってて

…そんなにわかるもんじゃないか…
この服生地厚いし
…あれ…?
そういえば
なんか…こんなこと
…前にも

主婦って
…こんなに
暇なもんかしら…

ゴロッ
隣の
藤原くんは
まだ仕事
してるのかなー

そうだ…
保健室で…

あの子が
いて…

そうか…
だから…
ここで初めて
会った時からなんか…
挙動不審な感じ
だったんだ…

あの時も
あたし…
ノーブラで…

あの時…
……って

保健室の松井先生にベッドで休みなさいって…
締め付ける…ブラとかを取ってってって言われて…

そうだ…そのあと…
先生がいなくなって…

あの部屋にあたし一人だけで…
それで…

藤原君は…
あたしのこと
心配してきて
くれたのに

あたしは…

あと…彼が
15分早く
来てたら
……まずかった
な
ていうか…

悪いことしちゃった…な
あの年ごろの男の子の前であんなカッコしてりゃ
そりゃおかしくなるよね…
あ
やっ…ちがっ
なのに…あたし…何も言えなくて…
ガチャ
せんぱーい あれー？
！
すいませーん

藤原くんとこから
…よね…？

ほんと
すいませーん

ほんとに

けっこう声
聞こえるんだな…

アハハ

女の子…か

…彼女かな…

いえ
いえ

アハハ

ずいぶん
親しそう…

藤原くんも…
この彼女と エッチ してるのかしら…

……するよね …そりゃ…
いい歳なんだし

ぼく…はっ 先生のことが… 好きだから……!
だから… こんな

はは
告白されたっけ
そういえば
パニックのまま…
本当かなあれ…
あたしのコト…
あたしのオッパイ触っちゃったから…
とりつくろって言っただけかもね…
ふふ

彼女も…

胸…
大きいのかな…

第5話 ホントにやわらかかったの？

ん…
いけないっ
夕飯の支度…っ

——って…そっか…
今日 私だけだっけ…
……
自分のご飯だけ作るのも…なんかなー
いいやっ 外でなんか食べよっ

藤原くん！
あっ
今帰り？
こんちは…
はい
先生…は買い物ですか？
ううんえっと
あ！そだ！
藤原くんご飯食べた？
え
いえ…まだですけど
じゃあ一緒にご飯しない？
え!?

今日ダンナ
出張でいなくてね
一人だし
外で食べようと
思ってたの
でもお店も
わかんないし
藤原くんなら
知ってるでしょ？

いや 僕
居酒屋
くらいしか…
居酒屋！
いいじゃない
行こうよ！
奢るし！

二人の再会を
祝うって
イミもこめて！
ね!?
……

じゃあ…

はーい 生二つ お待ちー
はーい
んじゃ カンパーイ!!
かんぱーい

久しぶりでねビール
あ ううんいつもは違うのよ
ちょっとそれでテンションが…ね？
いえ…別に…

ほらほら！藤原くんも飲んで飲んで!!
あっはい

ワイ
ワイ

はーそれにしてもなんていうのか
感慨深いっつーか

フシギ…っていうのかな――
なんです？
ザワ
ザワ

こうして
元とはいえ
教え子だった子と
お酒を
飲んでるなんて

…そうですね
僕もなんだか
…不思議な
感じです…

ねぇ…
そうしてすぐ
目をそらすのは…
あの時の
せい…？

あの…
保健室の…
あ…の…
……
えっ…
えっと…
ごめんね…
あの時…
ほんと…
…え…？
ずっと…ね
謝んなきゃな
って思ってたの

学校の中で
…あんな
無防備な
格好で…

学生とはいえ
男の子だもんね
いくらなんでも
配慮が
なさすぎよね

……
あれからさ
藤原くん
なんとなく
私のこと
避けてたもんね

だから
よかった
こうして
仲直りできて
一緒に
お酒飲んでさ
ね
……
はっ…
え？
ギョ
う
う…
うっ
う

なに!?
え!?
ちょ…
う
うっ
う
よかった…

よかった…っ

先生がそんなふうに言ってくれて
僕は…ずっと…
ぐす

先生にひどいことしたって…
そう思ってたから

ね
焼酎
いける？
え？
あ…はい
一応…
よし！

すいませーん
霧島二つ！
ロックでくださーい
はーい

今日は
もう少し
飲もうよ
お互いの
わだかまり
とれた記念に

…はい！

はー
いっぱい
飲んじゃったなー
先生…
ほんと
強い…っスね
ダンナさんには
ナイショね!
ふふ
二人だけの
ヒ・ミ・ツ!!
ハイハイ
旦那さんと
…飲んだり
しないんですか?

んー
ダンナさんは
下戸でさー
だからだろうけど
私が飲むのも
あんま
よろしくない
みたいで
はあー…
だからほんと
久しぶり
こんなの
また
飲もうね
…じゃあ
旦那さんの
いない時にでも
うわー
アヤシイ
言い方ー
いやっ
えっ
そんな…っ
あははは
ジョーダンよー
でもほんと
・・・・
アキくんは
変わって
ないなー…
純情なんだねぇ

先生…
酒グセ
悪いですね…
ふふふっ
そんな
こたぁー
ない！

ただ…
どうも私
キミの前だと
無防備なこと
多いなァ

今日だってさ
気付いた？
朝会った時
ノーブラ
だったんだよ？

あっ
今は
違うからね！
ちゃんと
してるし！

…ほんと
■みすぎです
…先生
ふふふー
まあ…でも
純情っつっても
彼女もいるし
あの頃とは
違うかー
へ？
今日の昼
来てた
じゃない？
賑やかな子
あっあれは
アシスタントの
女の子ですよ
…ただの…
……
…ねえ

私のオッパイ
柔らかかった？
えっ…

ほら！
あの時
触ったじゃない？

あ…の…
えっ…と

あはっ
なーんて！
もう
忘れちゃったよねー
あんな昔の
こと！

あっ…あの…
ふふふっ

今は彼女のオッパイで充分だもんね！

いやっ だから…違いますって！あの子は
マジで

あの時は私のこと好きだったクセに…
ボソ…

えっ
なに…
なんでもないよっさっ帰ろ！
はっ…はあ
そいじゃお仕事頑張ってね
はい

また行こうね
あ…ぜひ

ぁ先生

オッパイ…柔らかかった…です…

おやすみなさい

酔ってたから…なんか
喋りすぎちゃった…かな…

なんだろ…だって…藤原くん…
…アキくん
オドオドして…
なんか…かわいいし…

あ…っ
やっぱり…
すっごい濡れてた…

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

4コマのパトス

今日はダンナさんが出張から帰ってくる日!
夕飯気合い入れるぞー!

精力つくものいっぱい作ろうかなー
夜にそなえて♡なんちゃって…
きゃ♡

こないだはおあずけだったから今日は最後までしたいなあ
こないだより激しくしてほしいし…あんなコトやそんなコトもいっぱいいっぱい……

!?
ド―
ド―
ヌフフフフフフ

第6話
先生はそんなに
したかったの？

柔らかかったです…オッパイ
…はっ
なんで…っ
僕は…あんなことを……ッ!!
せっかく…あの時の…保健室のこと和解できたのに…!!
それを台無しにするようなことを…っ

あー…
先生
引いてたんじゃ
ないかな～…
…ま…でも
昔より
マシか
お互い
酔ってたしな
さて
それよりも
仕事しないと…
えっと…
女の子の
資料を

巨乳で…
小さい水着のを

カチ
カチ

重そうだな！…
……肩こりそうな
しかしこれじゃ
いくらなんでも
リアリティが
……

でも…
先生の…って
これくらい…
あったよな
いや…
もっと…？
重そうに
垂れてて…
はあ
はっ…

朝
会ったとき
ノーブラ
だったんだよ？
は
は
は
は
はっ
は
あ
おはよう！

あ
あっ
あっ せんせ…
あっ… ティッシュ…
そっちかっ……！
あ…っ
やべ… 手ん中… に…
出ちゃった…
あ
あ…っ
は

はぁ…
全然仕事進まねぇ…
なにしてんだか…
弁当買ってきて…
…食べたら今度こそちゃんと仕事しよう
でないと…本当にやばい…
!
あら!
ぞわ

ゆうべはたくさん飲んじゃったねー
二日酔いとかなかった?
あ はい 全然大丈夫でした

そっかよかった

あっ…あのっ
また…ぜひ一緒に!
そだね ふふっ

これから買い物?
あっ…えと はい! 弁当を買いに!
先生も?

ええ
今日からダンナさん帰ってくるからね

あ…そうなんですか……
うん だから料理もしなきゃってね
じゃね! アキくんもちゃんとゴハン食べるんだよ!
あっ はい!
じゃあ また!
よかった…
あんまり気にしてないみたいで…

先生…
レイチ

なんか
いそいそと
してたな・

やっぱり…
ダンナが
帰ってきたら
嬉しいの
かな…
そば
うどん
COFFEE

はーい
四百十円に
なりまーす
ありがとう
ございました

だめだ…
だめだな…
先生のこと
ばっかり…
カン
カン
カン
カン

ちゃんと
仕事しないと!
うん…
そうだ

今いい感じ
だからさ
この感じ
忘れないで
いこう

大ヒットとは
言わないよ
でも
キミのマンガは
なにか…あると
思うんだよ!

だから…
頑張ろうね
そうだ…

担当さんも
期待して
くれてるんだ
頑張ん
なきゃ…

っ……あ……
あああっいい…
あ…っ
あぁッ
やんっ
あはっ
すご…
久しぶり…っ

あっ
せ…んせい
ひあ
あっあっ
そっか…
ダンナさん
帰ってきて…
今夜…
できるから…
浮かれて
たのかな…
あ
あっ
あっ
あ
あ
はあん
なんで
先生
僕の…
ジャマ
ばっかり…

ん
んんんっ
は
あ
はひ

あ
あっ
顔が見えない…
あ
ひっ
ああ
それに
オッパイも……
ああ…
それでも
あんっ
この声…と
あの…お尻の
動きだけで…
もう…
あん

あ
は・・・

ひ

あ
ズ
ズ
は
ああ
あっ
は

先生…僕
AVとか
仕事柄
たくさん
見るけど…
あ
ああん
ゴッ
先生ほど…素で
だらしない顔してる
…女優さん…
滅多に
見ないよ…
ねえっいいっ
もっと…いい？
もっと
していいっ!?
ゴッ
あ
ああ…
また…
…手に
出しちゃった…
ああん
あっ

うう…っ
くそ…
スケジュールがもうめちゃくちゃだ…
締め切り明後日なのにまだペンもろくに…
まさか…先生が…
毎晩あんなに…するなんて…

はーい
ガチャ
こんにちは！
あーごめんねまさみちゃ…
？
なんか…いつもより荷物大きくない？
へへ

先輩の話
聞いて
こりゃヤバイと
思いまして
泊まりの
準備して
きましたっ
え？
いや でも
いきなりそんな
だって
ホント
ヤバイですよ
〆切
明後日
ですよね!?
う…うん
力に
なります
から！
ね！
先輩
よろしく…
お願い
します…
はいっ

第7話
どうして
気がつかないの？

それでね
私寝ボケてて
カベ
おもいっきり
蹴っちゃったん
ですよ！
ニノ
ニノ
へー
蹴った直後に
ハッ!! って
目が覚めたん
ですけど――
自分で
びっくり
しちゃって

でもね
それから
なんかもう
朝のデカイ目覚まし
鳴らなくなって！
おおー

ガツンと
やっちゃった
わけだね
ハイ…
結果的に
やっちゃい
ました…
でもこれで
安眠が訪れた
わけだ
ていうかー
でもー

もうすっかり
身体が
隣の目覚ましに
順応しちゃって
目が覚めると
いうか…
6時か…
習慣
づいちゃって…

仕事は多分
なんとかなる…
ただ
気がかり
なのは

今日も
また…
先生が
先輩
あんな…
大きな声で
されたら…

まさみ
ちゃんも
いるのに…
どういう
リアクション
とれば
いいのか…
先輩！
あっ
え？
ここですけど
下描き…

あー うん OK！
ありがと！ これでいって くれる？
………

寝不足 ですか？

え？
なんか… 時々… ぼーっと してますし

まあそりゃ そうですよねー
原稿が この状況じゃ 寝てられない ですもんねー
あー… うん…
そう…ね

でも大丈夫だよ
もうひとふんばりだしね頑張ろう
ありがとね
――はい!

あー ちょっと僕弁当買ってくるよ
なにがいい?
あ! すいません! なんでも大丈夫です!
OK じゃあ

はー
寝不足は確かにそうだけど…
理由が…なー…

オナニー三昧でした…なんてね…

とはいえお金払って来てもらってるんだ…
集中しないと…
ありがとうございましたー
つーか…

問題は…今夜先生が…
セックスをするかどうか…なんだよな…

二人で仕事してるところへ…
あんな声聞かされちゃ…
ガチャ
あ
あらアキくん！こんばんは
──こんばんは
晩ごはん？
ええ弁当を
……二人分？
え？

来てるんでしょ？
彼女
あっ…いえ…
アシスタントです
ちょっと…
仕事ヤバくて…
ふふっ
この前の
女の子だよね？
え？
なんで…？
大きい声の子
だねェ
少し
聞こえちゃった
！

あたしは山芋とニンニク買ってくるの忘れちゃってー
買ってこなきゃなのよー
知ってるのか…!? 先生は…自分の…声が抜けてること
めんどくさいわー
わかってて わざと…!?
あ…あの すいません…
声…うるさいですよね…
もう少し静かに…した方が…

あっ ううん そうじゃないのよ
ただ 聞こえちゃっただけで
全然 平気よ!?

だから 気にしないでね
ごめんね 変なこと 言って
あ… いえっ
ああ… 違う…

気付いて ないんだ…
このひと ……!

僕らの声が 聞こえてるって ことは…
自分の声も 聞こえるって ことに…
あっ いけない
さっさと 買って こないと
この女は… なんて…

じゃあね!
お仕事頑張ってね
なんて…天然…!!
はい…

ガチャン
ただいまー…
お帰りなさいっ
まさみちゃん
カラアゲで
よかった？
はいっ
大好物
です！
混んで
ました？
え？
どうして…
いえ
時間かかって
たんで…
あー…
……お隣さんと
会ったんで…少し
話してたんだ
じゃあ
ちゃっちゃと
お弁当
食べちゃおか
はい！
あ お茶
いれますっ

カリ
カリ
カリ
カリ
カリ
カリ
カリ
11時をまわった……
このくらいの時間から…いつも…
カリ

先輩
トーン
こんな感じで
大丈夫ですか？
あ
いいね
OKです
疲れまず
よねぇ〜
ん？
まあね
ふー
ギュッ
正直…
仕事の疲れより
……

いつ隣から
先生の嬌声が
聞こえてくるか
……

そうなった
時の
漂りつくで
あろう この
空間の想像と

僕がその時
どういう対応を
すべきか
という
延々と繰り返している
脳内シミュレーション
による疲弊!!

まあ
どっちにしろ
……
気まずい
ことには
変わりない
わけで…
ギュッ
わあ
すごい
こってますよ
先輩
ギゅむっ

あ…
ありがとう…
いえいえー
ため息
なんかも
ついてますし
疲れてるん
だなーって
だから
こんなことでも
役に立てたら
嬉しい
ですもん
うん
ありがとう
気持ち
いいよ
よかった!
ああ…手が…
指が…細い…

女の子の手だ…
ああ
ヤバいな

勃起してきちゃった…！

あ！そだ…！まさみちゃん？
はい？

おフロ…っつーかシャワー
先に入っちゃってくれる？

えっ いいんですか？
うん
どうせ今回す仕事もないし ちょうどいいから
そうですか じゃあ お言葉に甘えて お先にっ
うん
は…
こんなことで情けないというか…
肩触られただけで…
疲れマラってやつかな…

コーヒーでも
入れるか…
入口の
カーテンも
ちゃんと
閉めないで…
ほんと…
なんていうか
大ざっぱな
子だな…
──ったく

パシャ
パシャ
バシャ

ゴク

…あっ
あっ
あっ
はんっ
あん
あっ
あはっ
あ
ウソだろ…
ああっいいっ
漫画村

第8話
これが前門の虎、
後門の狼なの？

あ

はあんっ

あっ

あっ

あはッ

あはん

ウソだろ…
なんで…

先生…

この…
タイミングで…

ああん

まだ…シャワー音でまさみちゃんには聞こえてないはず
いや だからって…時間の問題だし…!
あ
あっ
あひっ
ああ
山イモとニンニク買うとかゆってたな…
そりゃ…旦那さんも精力が…
――って そうじゃなくて…!
あはっ
あなたっ
どうする…!まさみちゃんが出てきたら…
この…声をどう説明する…??
あん

僕も今日初めて聞いたフリをする…
↓
一緒に驚く
仕方なく二人で声を聞き続ける…
↓
A↓ずっときまずい空気…
B↓なんだかおかしな気分になってくる
はあん
あっ
B′↓まさみちゃんがおかしな気分になってくる
B″↓まさみちゃんが欲情してくる
いい
んっ
C′↓「こっちも負けずに声出してやりませんか？」
……
……
ああんっ
あ

だめだっ
なんだこの
ご都合主義の
願望だけの
プロットは
ボツだっ
ボツだっ
あっ
!
やばい…もう
出てきちゃう
……!
あはあ
んああ
あんっ
あー
万事
休す…
……
!?
んんっ

…!?
え…
…声が……
やんだ…!?
はー!
…あっ…
…まさみちゃん…
温まった…?
はい!
お先ありがとうでした!
いいですね
先輩とこのシャワー
水圧高くて

先生が…
なんで突然
やめたのか
わかんないけど・・
ギシ
まさみちゃん
とこの
シャワー
弱いの？
そうなんですよー
もう
チョロチョロで
ひとまず
助かった…!!
シャワー
弱いのって
微妙にストレス
だよねー
そう！
そうなんです－！
えっと
お仕事
どんな感じ
ですか？
あ…
あー
そうだね…
えっと…
やば…声の
ことで…
なにもやってない
えっと…
構図で
悩んじゃって…
まだ
なんだよね
そうだ
丁度いいから
この間に
仮眠とって
もらおうかな
えっ

そんな…いいんですか？けっこうまだ量も…
うんだから仮眠してもらって
起きたらいっきに頼もうかと思って
ほらスッキリした方が効率もいいでしょ？
なるほどー
先輩がそう言うなら
じゃあ少しだけ休ませてもらおうかなっ
僕のベッドで申し訳ないけど
いえいえっ
あ 時間きたら容赦なく起こしてくださいね
はは
了解

じゃあ
いったん
おやすみ
おやすみ
なさーい
ふー
さぁー
ここから本当に
ガッツリ
いかないとな
4時半か…

ふあああぁ
そろそろまさみちゃん起こして…
代わりに少しだけ寝ようかな…

……フトンに入ってから脱いだのか…な

パンツ…は
脱いでないのかな…
暗くてよく
見えない…な

暗すぎる…

あと少し
…近づけば

見えるから
……

ん…

5:01
5/23 THU 21.5
バクン
バクン
バクン

ん…
ゴッ
はっ
は
はっ

はっ
はっ

アキ…
せん…ぱ
ん…
んんっ
!
ゴ…
ギ…
スス…
ス…
ささ…

「落日のパトス」第①巻〈完〉

あとがき
落日のパトス第1巻
お買い上げありがとうございます！
当初考えていたのは、アキくんと
先生のもっとストレートで、ちょっと
ひねくれたエロラブなお話でした。
ところがいざ始まってみると
思った以上にアキくんはゲスで
先生はド天然な上にドスケベに
なってしまいました…。
…先生はクールなキャラの
つもりだったのになあ。
しかし今はそんな2人を
描くのが楽しくて仕方なし。
この先もいっしょに楽しんで
いただけたらと思います。
ではまた!!
2015年7月のある日。

RAKUJITSU-NO-PATHOS 次巻予告

聞こえていた?

これまで…

ずっと…

ずっと!?

声が、はしたない自分の嬌声が。
隣の部屋の、自分の元・教え子に……。

聞かれてたの!?

私…

第2巻を乞うご期待。

どうしよう。
どうする
いっそ今聞く!?
スパッと勢いよくいく!?
彼は、気が付いてないフリをしてくれたの？
知りたい。知りたい。確認しなくては。
先生?
ね!
アキくんさえっと…
はい!?
今日は…今から休んでまた夕方起きるのかな?
あ…ええそんな感じだと思います
じゃあ…
さすがに…
二人の関係に、歪な影が落ち始める…。
淫靡なる隣人愛欲物語。

■ヤングチャンピオン・コミックス■

落日(らくじつ)のパトス①

2015年9月1日　初版発行

著　者　艶々(つやつや)

発行者　秋田貞美

発行所　株式会社 秋田書店

〒102-8101　東京都千代田区飯田橋2-10-8
☎編集(03)3265-7362　販売(03)3264-7248
製作(03)3265-7373
振替口座　00130-0-99353

印刷所　三報社印刷株式会社

Printed in Japan

ISBN978-4-253-14071-3

デジタル版　2015年発行
製作所　デジタルカタパルト株式会社
http://www.digital-catapult.com